

1. いじめの防止

◇いじめのない学校づくりに向け、以下のことに取り組む。

- ①校内体制の確立・・・全教職員で共通認識のもとで、校長を中心に一致協力する。
- ②教師の指導力の向上・・・「いじめ対策ハンドブック」等を活用する。
- ③児童への人権意識・生命尊重の態度育成・・・お互いを思いやり、生命を大切にする。
- ④道徳的実践力を培う道徳教育の充実・・・「生命尊重」の指導項目の充実を図る。

2. いじめの早期発見

◇児童が示す変化や危険信号を見逃さないアンテナを常に高く保つ。

- ①教職員の観察や情報交換・・・「5W1H・気づき」を詳しくメモする。
- ②児童アンケート・個人面談（必要があれば）・・・きめ細かな実態把握・児童理解に努める。 *毎月実施
- ③校内教育相談体制・・・児童や保護者の悩みを積極的に受け止める。
必要に応じてSCやSSWを活用する。

3. いじめに対する措置

◇被害児童を守り通すとともに、加害児童には毅然として対応する。

- ①いじめの発見や相談を受けた時の対応・・・早期の段階からの確かな関わりを持つ。
- ②組織的な対応の実行・・・「いじめ対策委員会」へ報告し、情報の共有化を図る。
- ③被害児童・保護者への支援・・・寄り添う体制をつくり、専門家の協力を得る。
- ④加害児童・保護者への指導・・・教育的配慮のもと、継続的に対応する。

4. 重大事態発生時の取組

◇「長崎市いじめ防止基本方針」に則り、学校は長崎市教育委員会・市長へ速やかに報告する。

〔重大事態の例〕 ○自殺を企てた ○重大傷害を負った ○金品等の被害を被った

○精神疾患を発症した ○不登校になった ○保護者から申し立てがあった

※「いじめ対策委員会」で事実関係を調査し、事後対応・再発防止にあたる。

- ①『いじめは人間として絶対に許されない』との認識を、学校教育全体を通じて、児童一人ひとりに徹底する。
- ②児童に対しては、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養う。
 - 児童の豊かな情操や道徳心
 - 自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互い人格を尊重し合える態度
- ③いじめの背景にあるストレス等の要因に着目し、その改善を図り、ストレスに適切に対処できる力を育む。
- ④全ての児童が自己有用感や充実感を感じられる学校づくりをめざす。

【めざす児童像】

- ◇深く考え、工夫する子ども
- ◇明るく、思いやりのある子ども
- ◇ねばり強く、たくましい子ども

いじめ対策委員会

- 「いじめ対策委員会」とは、いじめ防止対策推進法第22条の「学校におけるいじめ防止等の対策のための組織」をいう。
- 構成員・・・校長・教頭・教務主任・生活指導主任・学年主任
学級担任・養護教諭から構成する。
- 定例会・・・毎月第4月曜日 15:30～

専門家・外部関係者

- スクールカウンセラー
- 学校評議員
- 学校サポーター
- 学校ソーシャルワーカー

育友会・地域との連携

※さまざまな学校行事・育友会行事・地域行事を通じて、情報交流がスムーズにできる環境を整え、育友会や地域との絆を深める。

関係機関との連携

※SCや民生児童委員などの関係機関との間で、日頃から定期的に学校を訪問いただく機会を設けて、可能なかぎり、情報を提供し、指導・助言をいただきながら、事案に対応する。

児童会

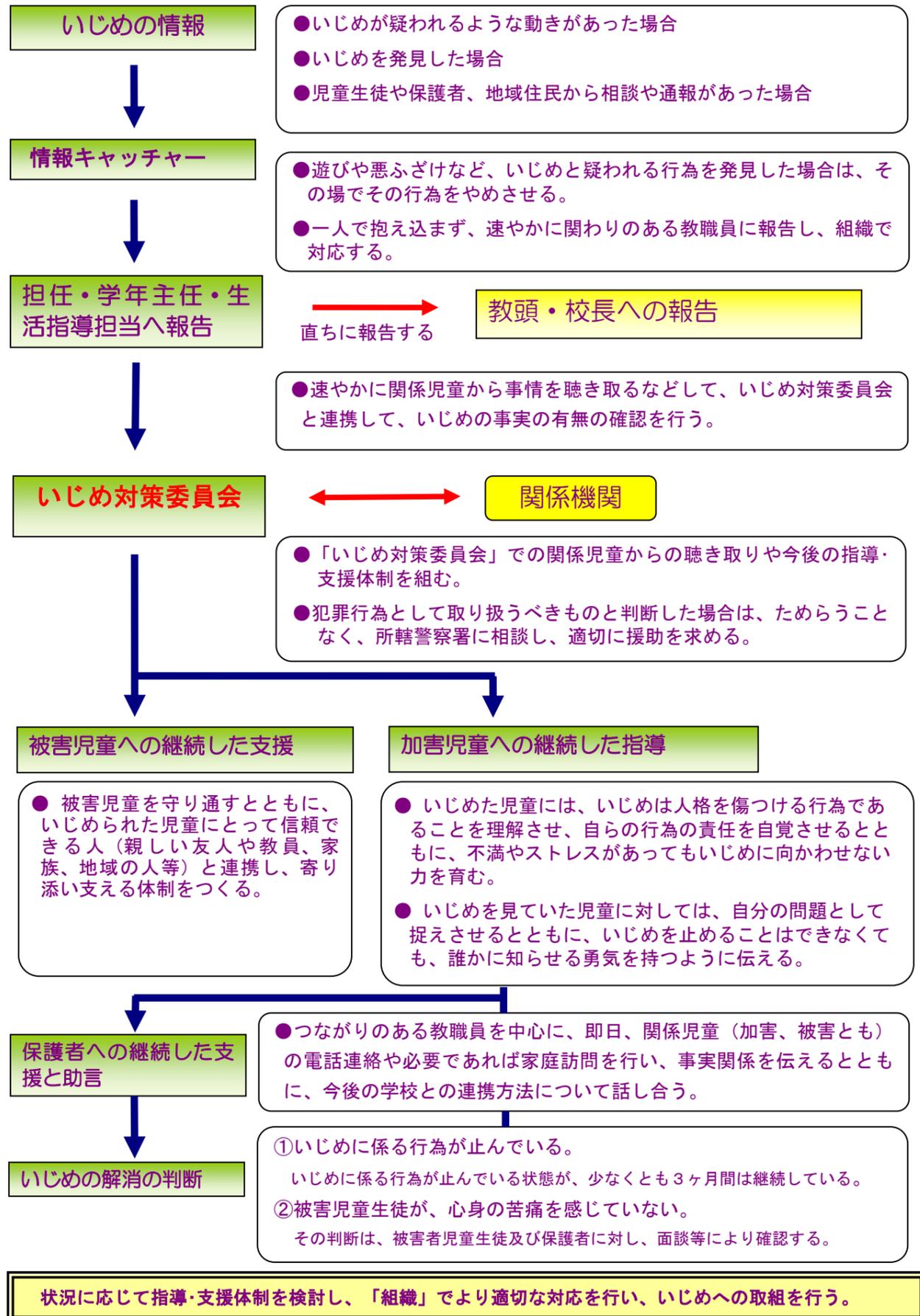
※児童会はいじめにかかわる議題を取り上げ、いじめ問題の未然防止運動をまきおこし、年間を通じた課題に取り組ませる。

（いじめの禁止）第4条 児童等は、いじめを行ってはならない。

※いじめ防止対策推進法より抜粋

（保護者の責務等）第9条 保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、その保護する児童等がいじめを行うことがないように、当該児童等に対し、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。

いじめが発生した場合の対応



いじめられている子のサイン・家庭でのチェックリストポイント

◇いじめられている子のサイン

- 服が汚れ、傷やあざがないか
- どこか元気がなく、おどおどしていないか
- 教師と視線を合わせず、さけていないか
- 集中力がなくなっていないか
- 周りの子に異常に気がついていないか
- 人の言いなりになっていないか
- グループから、急にはなれていないか
- 嫌なあだ名で、呼ばれていないか
- まわりから避けられていないか
- 校納金を滞納することがふえていないか
- 机やカバンの中が荒らされていないか
- 持ち物がかくされていないか
- 実名・あだ名で落書きされていないか
- 顔写真・作品にいたづらをされていないか

◇家庭でのチェックリスト

- 服がふつうでない汚れ方がないか
- 最近、服装が乱れていないか
- 持ち物がよく壊されていないか
- お金を急にねだるようになっていないか
- 金品を勝手に持ち出していないか
- いつも必要以上のお金を持っていないか
- 急に学習意欲がなくなっていないか
- 家庭学習の時、ぼんやりしていないか
- 以前に比べて、感情の起伏が激しくないか
- 起床が遅く、登校を嫌がらないか。
- 寝言を言ったり、うなされたりしないか
- 部屋に閉じこもり、泣くことが多くないか
- 友だちの話を最近しなくなっていないか
- 不快な呼び名をされていないか

5 R7 活動計画（研修計画も含む）

月	活動内容	月	活動内容
4月	①学校・学年・学級経営方針 自宅調査 児童アンケート 児童個人面談	10月	⑦児童アンケート 児童個人面談
5月	②共通理解（児童観察・自宅調査） 児童アンケート 児童個人面談	11月	⑧人権集会への取組 児童アンケート 児童個人面談
6月	③児童アンケート 児童個人面談	12月	⑨児童アンケート 個人面談（児童・保護者）
7月	④共通理解（情報共有・早期発見） 児童アンケート 個人面談（児童・保護者）	1月	⑩研修報告 児童アンケート 児童個人面談
8月	⑤関係児童・保護者への対応 児童アンケート 児童個人面談	2月	⑪児童アンケート 児童個人面談
9月	⑥育友会や地域との連携 児童アンケート 児童個人面談	3月	⑫児童アンケート 児童個人面談 育友会や地域との連携

6 さまざまな相談機関

相談機関	電話番号	相談可能な時間
親子ホットライン	0120-72-5311	9:00~20:50（月～金）
子ども・家庭110番	095-844-1117	9:00~20:00（毎日）
長崎市教育研究所教育相談	0120-556-275	9:00~17:00（月～金）
こども総合相談（子育て支援課）	095-822-8573 095-825-5624	8:45~17:30（月～金）